創立二十周年

記念論集

立命館大学ワンダーフォーゲル会

目　　次

RUWVの歩み略年表 …… 1
20周年記念論集発刊にあたって …… 山田日吉 …… 4
OBより …… 瀬端 …… 5
二十才の春に想う …… 檀上俊雄 …… 6
自然活動について …… 福田智恵子 …… 8
屋久島奮闘記 …… 山本和義 …… 9
「責任は個人に帰す」について …… 三木敏次 …… 11
ワンゲルについて考える …… 平野恒彦 …… 12
私のワンゲル観 …… 波戸深 …… 13
「二回の山行を終えて」 …… 中川陽子 …… 13
新人合宿 …… 川崎泰雄 …… 14
「僕のワンゲル日記〜新人合宿まで」…… 中山拓美 …… 15
「初めての山行に思う」 …… 林民夫 …… 18
山小舎日誌 ……（1965年7月〜1973年2月）…… 19

漂　雲

★ 創刊号

＊創刊にあたって …… 永辻啓介 …… 33
＊石の上にも三年 …… 〃 …… 33
＊昨年度の反省から …… 本所明夫 …… 35
＊ワンゲルと私の考え …… 柴原裕 …… 38
＊ワンゲルに入会して …… 長谷川勇 …… 40
＊立命WV創立小史 …… 鎌田克則 …… 42

★ 第3号

＊大学の使命と立命ワンダーフォーゲルのあり方 …… 蘿摩節雄 …… 44
＊連盟について …… 山田正 …… 47

★ 第4号

＊山小舎建設経過報告 …… 鈴木正博 …… 51
＊事の進み …… 木村恒夫 …… 58
＊山小舎借地関係の件について …… 鈴木正博 …… 60

★第 5 号
＊自　主　性 …… 西田　猛 …… 61

★第 6 号
＊無　題
（現況における雪上ワンデリング）倉橋正一 …… 62
＊雑　感 …… 河村　尚 …… 64
＊雑　感（幽霊会員と会運営）… 古沢祐三 …… 65
＊最近の我がワンゲル観 …… 香川庄司 …… 67

★第 9 号
＊一年を終えて …… 橋本寛一 …… 68
＊ワンダーフォーゲルとは …… 内藤　徹 …… 69
（ワンゲルを考える …（橋本寛一））
＊私のワンゲル論 …… （OB打越啓祐）…… 76

★第 10 号
＊一年間をふりかえって …… 大島寛二 …… 82
＊我が会の現状と展望 …… 坂本　実 …… 83

★第 11 号
＊苦悩にたつRUWV …… 井上孝一 …… 84
＊6.16の声明文 …… 85

★第 12 号
＊45年度総括 …… 井上孝一 …… 88
＊混迷の中で …… 別府明則 …… 89
＊46年前期反省 …… 〃 …… 90
＊RUWV「今」と「これから」…… 山川　実 …… 91

★第 13 号
＊昭和48年度RUWV …… 石橋光正 …… 93

おわりに …… 94
RUWV　OB会員名簿 …… 95

☆ R.U.W.V の歩み略年表（« 漂雲 » より抜粋）

年度	事　　項	P.W	合　宿	その他
33	"漂雲"創刊 規約に（最低合宿２回 定例２回，合ワン２回 参加以下は除名）の制 度あり。	サイクリング スキー ハイキング 人数２～多数 日程１～ 他大学生のOpen 参加 一般募集	時期は未決定	リーダー個人の力 が強い（独裁的？） 顧問あり
35	全日本合同ワンデリング	P.W 数増加	新人：比良	・ワンゲルのある
36	全日規約改正に於ける退 場事件 問題点：理事校制度	・南小谷スキー ・P.R ワンデリン グに記者同行 ・妙高ＰＲ 参加８２名 一般７０名	夏：雲の平 （集中） 旧人：大峰 （３１名）	関西の大学 →立大　関大 ・活動方向の模索 →（何でもやろ う!!） （ex） 比良山清掃 P.W
38	・10/27山小舎へ孤児招待 ２回生主催 費用全額負担 ・連盟副委員長送る 連盟の仕事多し ・10/29除名案可決 会員数１４９名	・新歓ワンデリング （２回） ・夏合宿直後のP.W が多い。 ・北海道，東北 無銭旅行	夏，妙高，戸隠 一帯 7/13～18	

年度	事　　項	P.W	合　宿	その他
39	・幽霊会員問題 会員数２４６名 ・三カ月滞納者除名制度確立 （6/11, 10/13の総会） １２月８５名除名 ・活動の拡大問題 （高山指向） ・自主制欠如の問題 ・装備監査報告の実施	・雪上ワンデリング活発化 ・２～５名程度のP.W 多し ・パーティ数多し ・P.Rスキー ・北海道P.W ・夏合宿直後のP.W 多し	夏：中央アルプス一帯 7/12～19 冬：スキー合宿	民謡同好会 釣同好会設立
40	⊗に対する反発 →創立からの理念確認 ・冬天購入問題 ・三回生の合宿不参加者多く，リーダーシップが問題となる。	・北海道周遊ワンデリング ・沖縄，西表P.W	夏：東北南部範囲は狭いが当時としては拡大意図 ☆合宿に於いて現地本部初設置	東京農大しごき事件 ⊗
41	・自主性の問題 ・山小舎関係 第一期山小舎委員会発足→新山小舎建設について （但し，クラブとしての正式な委員会ではない。→三回生が主）			

年度	事　　項	P.W	合　　宿	その他
41		紀伊半島一周 サイクリングP.W 島根半島一周 サイクリングP.W P.Rワンデリング （10/29～/30）	夏合宿に新しい試みとしてテーマ委員会を設置し合宿のテーマや各パーティのテーマを設けそれを実行し，一歩前進した合宿であったと評価	8月山小舎のカギを新しくする カマドの作り直し （失敗つづきで過去2回）総会の承認を得ているが無関心派多し
42	山小舎5周年記念園遊会ワンゲル論，活動に関する議論盛ん（ワンゲル運動論研究会） 現状分析委員会 B制例会，日曜会の公認問題事故対 スキー合宿 合宿P.Wの関連性の問題	関合に参加 （ファイヤー設置担当） 関西女子合同W ダケカン企画担当したが雨で流れ光華女子大と合W P.Rワンデリング 学園祭終幕祭のファイヤー担当 P.Rスキー 各回生別合宿 スキー合宿	前期開始より合宿を計画準備，合宿中帰った者4名　責任ある行動を問われる。 この合宿よりブッシュ等創造的一面表わる 洞窟めぐりP.W 陸中海岸 東北一周 寺めぐり 六甲 夏合宿14パーティー 東北北部一帯	
43	学園粉争激化 そのためP.Rスキー オープンW中止 会に沈帯ムードはびこる，これを打破すをため現状分析委員会設置	P.W数が会員数に比べ少ない 1人あたりの年間 P.W参加回数 1.6回ビワコ一周 サイクリング 立山スキー	旧人合宿 南九州 南諸島一帯	

年度	事　　項	P．W	合　　宿	その他
45				有志によりR．U．W．V論研究会出来る R．V．W．V論研の手により山小舎夏合宿がなされる

２０周年記念論集発刊にあたって

元実行委員長　　山　田　日　吉

先づは無事この論集を発刊出来たことを心から喜びたいと思います。と同時に，誠に恐縮ではありますが紙上を借りてＯＢ，現役諸氏及び関係者各位の温かい援助，御協力に感謝致します。ありがとうございました。

さて，２０周年の活動の中で，私は，ＲＶＷＶの抱えている問題をいくつか，実感として感ずることが出来たので，その一つを，しるすことによって私の章としたいと思う。

今振り返って一番問題となるのはこの２０周年の活動に対する実行委員会と一般会員との遊離，認識の相異ということである。それは結果として実行委の先ばしりという事態の様になってしまい，同時に実行委の自己満足だという批判も出た。

私としては，２０周年に対する意識なり，認識なりは，イコールＲＶＷＶへの真撃な問いかけと結ばれる等式であるととらえて来た。

実行委員会もその方針で活動した。だからこそ我々としては，新人諸氏に対しても，啓蒙的態度ではなく，終始一貫して個人の主体的力量に見合った形で，２０周年の意味するものをとらえ得る様心をくばった。その結果が２０年史や漂雲創刊当時の記事の復活としてなされたのである。

２０周年を契機として，ＲＶＷＶの現在持っているさまざまな問題点を自己のものとし，自己の深層の中に，主体的ワンダラーとしての思想性を確立して欲しいと私は願った。それこそ２０周年の活動のもつ意味だと考えた。しかし，結果は期待した様なものではなかった。実行委員と一般会員は遊離し，現状を打破しようとするための活動としてとらえた２０周年の活動の理念は全く敗北したとし